

デーヴォ ガイド



2025.7.21-27

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。



3:1 その方は私に言われた。「人の子よ。あなたの前にあるものを食べよ。この巻物を食べ、行ってイスラエルの家に告げよ。」

3:2 私が口を開けると、その方は私にその巻物を食べさせ、

3:3 そして言われた。「人の子よ。わたしがあなたに与えるこの巻物を食べ、それで腹を満たせ。」私がそれを食べると、それは口の中で蜜のように甘かった。

3:4 その方はまた、私に言われた。「人の子よ。さあ、イスラエルの家に行き、わたしのことばをもって彼らに語れ。」

3:5 あなたは、難しい外国語を話す民にはなく、イスラエルの家に遣わされるのだ。

3:6 あなたを、そのことばを聞いても分からないような、難しい外国語を話す多くの民に遣わすのではない。もし、わたしがこれらの民にあなたを遣わしたのなら、彼らはあなたの言うことを聞いたであろう。

3:7 しかし、イスラエルの家はあなたの言うことを聞こうとはしない。彼らがわたしの言うことを聞こうとしないからだ。イスラエルの全家は額が硬く、心が頑だからだ。

3:8 見よ。わたしはあなたの顔を、彼らの顔に合わせて硬くし、あなたの額を、彼らの額に合わせて硬くする。

3:9 わたしはあなたの顔を、火打石よりも硬いダイヤモンドのようにする。彼らを恐るるな。彼らの顔におびえるな。彼らは反逆の家なのだから。」

3:10 その方は私に言われた。「人の子よ。わたしがあなたに告げるすべてのことばをあなたの心に納め、あなたの耳で聞け。」

3:11 さあ、捕囚になっているあなたの民のところへ行き、彼らに告げよ。彼らが聞いても、聞かなくても、『【神】である主はこう言われる』と彼らに言え。」

3:12 それから、霊が私を引き上げた。そのとき私は、うしろの方で、「【主】の栄光が御住まいでほめたたえられますように」という大きなとどろきを聞いた。

3:13 それは、互いに触れ合う生きものたちの翼の音と、そのそばの輪の音で、大きなとどろきになっていた。

3:14 霊は私を持ち上げ、私を捕らえた。それで、私は自分の霊の憤りを覚えつつ、苦々しい思いで出て行った。【主】の御手は私の上に強くのしかかっていた。

3:15 私はテル・アビブの捕囚の民のところへ行った。彼らはケバル川のほとりに住んでいたが、私は彼らが住んでいるその場所で、七日間、茫然として彼らの中に座っていた。

主はエゼキエルに巻き物を食べさせました。これは内側に取り込んで、自分の血肉とし、またそのために決断を持ってこれをなし、自分自身に大きな影響があるということを意味します。

私たちがこのように神のことばを受け入れ、自分のものにしましょう。自分の命をこれにかけましょう。またよく味わいましょう。

この神のことばの巻き物が「甘かった」というのは、エゼキエルにとってすばらしいものであったということです。神様のために生きる者にとって真理は心地よいものです。また神のことばにこそ希望があります。

これを聞く民は神に従わないということは分っていましたが、それでも神の栄光のゆえにエゼキエルは従いました。私たちが神に栄光をいつも見ながら前進しましょう。それが力となります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 火曜

エゼキエル



3:16 七日の終わりになって、次のような

【主】のことが私にあった。

3:17 「人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたは、わたしの口からことばを聞き、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。

3:18 わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

3:19 もしあなたが悪い者に警告を与えても、彼がその悪と悪の道から立ち返ることがないなら、彼は自分の不義のゆえに死ななければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。

3:20 また、正しい人がその正しい行いをやめて不正を行うなら、わたしは彼の前につまずきを置く。彼は死ななければならない。あなたが彼に警告を与えなかったので、彼は自分の罪のゆえに死ぬ。彼が行った正しい行いは覚えられない。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

3:21 しかし、もしあなたがその正しい人に、罪を犯さないように警告を与え、彼が罪を犯さないようになれば、彼は警告を聞いたのであるから、彼は必ず生き、あなたも自分のいのちを救うことになる。」

3:22 その場所で【主】の御手が私の上にあった。主は私に言われた。「さあ、平地に出て行け。そこでわたしはあなたに語ろう。」

3:23 私は平地に出て行った。すると、【主】

の栄光が、かつて私がケバル川のほとりで見た栄光のように、そこにとどまっていた。それで私はひれ伏した。

3:24 それから、霊が私のうちに入り、私を自分の足で立たせた。主は私に語りかけられた。「行って、あなたの家に関じこもっていないさい。

3:25 人の子よ。今に人々があなたに縄をかけて縛るので、あなたは彼らのところに出て行けなくなる。

3:26 わたしがあなたの舌を上あごに付かせるので、あなたは話せなくなり、あなたは彼らにとって責める者ではなくなる。彼らは反逆の家なのだから。

3:27 しかしわたしは、あなたと語るときにあなたの口を開く。あなたは彼らに『【神】である主はこう言われる』と言え。聞く者には聞かせ、聞かない者には聞かせな。彼らは反逆の家なのだから。

3:18 わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

3:19 もしあなたが悪い者に警告を与えても、彼がその悪と悪の道から立ち返ることがないなら、彼は自分の不義のゆえに死ななければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。

…以上はまさに伝道のためのことばです。私たちは主の救いを伝えなければなりません。どのようにして滅びと救いのことを話すことができるようになるでしょうか。それを今日も、そしていつも考えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 水曜

エゼキエル



4:1 人の子よ。あなたは粘土の板を一枚取り、それを自分の前に置き、その上にエルサレムの町を描け。

4:2 それから、それに対する包圍網を張れ。それに対して壘を築き、包圍壁を作れ。それに対して陣營を設け、周りに城壁崩しを配備せよ。

4:3 また、鉄の板一つを取り、それをあなたと町との間に鉄の壁として立てよ。あなたが自分の顔をしっかりとこの町に向けると、この町は包圍される。あなたがこれを攻め囲むのだ。これがイスラエルの家に対するしるしだ。

4:4 あなたは左脇を下にして身を横たえ、イスラエルの家の咎をその上に置け。あなたがそのように横たわっている日数だけ彼らの咎を負え。

4:5 わたしはあなたのために、彼らの咎の年数を日数にして三百九十日とする。このように、あなたはイスラエルの家の咎を負わなければならない。

4:6 あなたがこれらのことを終えたら、次に右脇を下にして身を横たえ、ユダの家の咎を四十日間、負わなければならない。わたしは一年を一日としてあなたに課す。

4:7 それから、あなたは顔をしっかりと、包圍されているエルサレムの方に向け、腕をまくり、これに向かって預言せよ。

4:8 見よ。わたしはあなたに縄をかけ、あなたの包圍の期間が終わるまで寝返りができないようにする。

4:9 あなたは小麦、大麦、そら豆、レンズ豆、粟、裸麦を取り、それらを一つの器に入れ、

それで自分のためにパンを作り、あなたが脇を下にして横たわっている日数、すなわち三百九十日間それを食べよ。

4:10 あなたが食べる食物は、重さにして一日分二十シケルである。一日一回それを食べよ。

4:11 あなたが飲む水も、六分の一ヒンを量って、それを一日一回飲め。

4:12 あなたは大麦のパン菓子を食べよ。それを彼らの目の前で、人の糞で焼け。」

4:13 【主】は言われた。「このようにイスラエルの民は、わたしが追いやる国々の中で、自分たちの汚れたパンを食べなければならない。」

4:14 そこで私は言った。「ああ、【神】、主よ。私は身を汚したことはありません。幼い時から今まで、死んだ動物や野獣にかみ裂かれたものを食べたことも、不浄な肉を口にしたこともありません。」

4:15 すると、主は私に言われた。「では、人の糞の代わりに牛の糞でよい。あなたはその上で自分のパンを作れ。」

4:16 そして私に言われた。「人の子よ、見よ。わたしはエルサレムで、パンの蓄えをなくそうとしている。彼らは恐る恐る量ってパンを食べ、おびえながら水を量って飲む。

4:17 こうしてパンと水が乏しくなり、だれもかれもが茫然として、自分たちの咎のゆえに朽ち果てる。

ディボーションなどで聖書を体験しましょう。その上で、愛する人々に神のこぼの確かさとか、また救いのすばらしさを伝えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

神さまはエゼキエルに様々な表象によって、イスラエルの崩壊を疑似体験させました。このように神のこぼを伝える者は、自分で体験し、また共感し、心から語る必要があります。



24日 木曜

エゼキエル



5:1 人の子よ、あなたは鋭い剣を取れ。それを床屋のかみそりのように使って、あなたの髪とひげを剃れ。それから秤を使って量り、その毛を分けよ。

5:2 その三分の一を、包圍の期間の終わるときに町の中で焼き、またもう三分の一を取って町の周りで剣で打ち、残りの三分の一を風に乘せて散らせ。わたしは剣を抜いてその後を追う。

5:3 あなたはそこからわずかな毛を取って、あなたの衣の裾に包み、

5:4 その中からさらにいくらかを取って、火の中に投げ入れ、火で燃やせ。火がそこから出て、イスラエルの全家に燃え移る。」

5:5 【神】である主はこう言われる。「これがエルサレムだ。わたしはこれを諸国の民のただ中に置き、その周りを国々が取り囲むようにした。

5:6 エルサレムは悪事を働き、諸国の民以上にわたしの定め、周囲の国々以上にわたしの掟に逆らった。実に、エルサレムはわたしの定めを嫌い、わたしの掟に従って歩まなかった。

5:7 それゆえ——【神】である主はこう言われる——あなたがたは周りの国々よりも粗暴な者たちで、わたしの掟に従って歩まず、わたしの定めを行わず、それどころか、あなたがたの周りの国々の定めさえ行わなかった。

5:8 それゆえ——【神】である主はこう言われる——今、わたしはあなたを敵とし、国々の目の前で、あなたのためだけにさばきを下す。

5:9 あなたのしたすべての忌み嫌うべきことのゆえに、これまでしたこともなく、これか

らもしないようなことを、あなたに対して行う。

5:10 それで、あなたのうちの父は自分の子どもを食べ、子どもは自分の父を食べようになる。わたしは、あなたにさばきを下し、あなたのうちの残りの者をみな四方に散らす。

5:11 それゆえ——【神】である主のことば——わたしは生きている。あなたが、あらゆる忌まわしいものと、あらゆる忌み嫌うべきことによって、わたしの聖所を汚したので、わたしもまた身を引き、あわれみをかけない。わたしもまた、惜しまない。

5:12 あなたの三分の一は疫病で死ぬか、あなたのただ中で飢饉によって滅び、三分の一はあなたの周りで剣に倒れ、残りの三分の一を、わたしは四方に散らし、剣を抜いて彼らの後を追う。

5:13 わたしの怒りが出し尽くされると、わたしは彼らに対する憤りを収めて満足する。わたしが彼らに対する憤りを終わらせたとき、彼らは、【主】であるわたしが、ねたみをもって語ったことを知る。

5:14 わたしは、あなたの周りの国々の中で、通り過ぎるすべての者の目の前で、あなたを廃墟とし、そしりの的とする。

5:15 わたしが、怒り、憤り、また憤りによる懲罰をもってあなたにさばきを下すとき、あなたは周りの国々のそしりととのしりの的、教訓と恐怖となる。【主】であるわたしがこれを告げる。

5:16 わたしが飢饉という悪しき矢を、滅びのため彼らに放ち、あなたがたを滅ぼそうとして放つとき、わたしは飢饉をあなたがたの上にいっそう増して、あなたがたのバ

ンの蓄えをなくす。

5:17 わたしはあなたがたに飢饉と悪い獣を送る。それらはあなたに子を失わせる。疫病と流血があなたのうちに起こる。わたしはあなたの上に剣をもたらす。

【主】であるわたしがこれを告げる。」

髪を焼く匂いと、人間が焼かれる匂いは同じです。エゼキエルは滅びの悲惨さんを体感し、その後預言・警告をしました。私たちも人々の滅びに危機感を持ちましょう。その真剣さを持って礼拝・宣教・証し・関係作りをしてゆくなら、必ず今とは違う主のみわざを見せていただけるはずです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 金曜

エゼキエル



6:1 次のような【主】のことが私にあった。

6:2 「人の子よ。イスラエルの山々に顔を向け、それらに向かって預言せよ。

6:3 『イスラエルの山々よ、【神】である主のことがばを聞け。【神】である主は、山や丘、谷川や谷に向かってこう言われる。見よ。わたしは剣をあなたがたの上にもたらし、あなたがたの高き所を滅ぼす。

6:4 あなたがたの祭壇は荒らされ、あなたがたの香の台は破壊される。わたしはあなたがたの中の刺し殺された者どもを、あなたがたの偶像の前に投げ捨てる。

6:5 わたしはイスラエルの民の屍を彼らの偶像の前に置き、あなたがたの骨をあなたがたの祭壇の周りに散らす。

6:6 あなたがたがどこに住もうとも、町々は廢墟となり、高き所は荒らされる。こうして、あなたがたの祭壇は廢墟となり、罰を受ける。あなたがたの偶像は破壊されて消滅し、あなたがたの香の台は切り倒され、あなたがたのわざは消し去られ、

6:7 刺し殺された者があなたがたのただ中に横たわる。そのときあなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

6:8 しかし、わたしは、あなたがたのうちのある者を残しておく。あなたがたが諸国に追い散らされるとき、剣から逃れる者たちを国々の中に残す。

6:9 あなたがたのうちで逃れた者たちは、捕虜になって行った国々で、わたしから離れた彼らの姦淫の心と、偶像を慕う彼らの姦淫の目に、わたしがどんなに傷ついたかを思い起

こす。自分たちのした悪や、あらゆる忌み嫌うべきことを、彼ら自らが嫌うようになるとき、

6:10 彼らは、わたしが【主】であること、また、わたしが理由もなく、このわざわいを彼らに下すと言ったのではないことを知る。』」

6:11 【神】である主はこう言われる。「あなたは手をたたき、足を踏み鳴らして、イスラエルの家の、忌み嫌うべきすべての悪のゆえに、『ああ』と嘆け。彼らが剣と飢饉と疫病によって倒れるからだ。

6:12 遠くにいる者は疫病で死に、近くにいる者は剣に倒れ、生き残って監視されている者は飢饉で死ぬ。こうして、わたしは彼らに対する激しい憤りを終わらせる。

6:13 彼らのうちの刺し殺された者たちが、祭壇の周りの自分たちの偶像の間に、すべての高い丘の上や山々の頂に、すべての青々とした木の下や、すべての茂った樅の木の下に、すなわち、彼らがあらゆる偶像に芳ばしい香りを供えた場所に横たわるとき、あなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

6:14 わたしが彼らの上に手を伸ばし、すべて彼らの住む所、荒野からリブラまでの地を完全に荒廃した地とするとき、彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

6:10 彼らは、わたしが【主】であること、また、わたしが理由もなく、このわざわいを彼らに下すと言ったのではないことを知る。...というのが、主のみこころです。

主は試練の中から、私たちに信仰に立ち返ってもらいたいです。そのための苦しみであること

を忘れずに、主の愛から心が離れないようにしましょう。主のさばきも試練も、すべては愛ゆえです。主の愛に頼って、主の慰めと希望で立ち上がりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 土曜

エゼキエル



7:1 次のような【主】のことが私にあった。

7:2 「人の子よ、あなたは言え。『イスラエルの地に対して【神】である主はこう言われる。終わりだ。終わりが来た。この国の四隅にまで。』

7:3 今、あなたに終わりが臨む。わたしは怒りをあなたのうちに送り、あなたの生き方にしがたってあなたをさばき、あなたのすべての忌み嫌うべきわざに報いる。

7:4 わたしはあなたにあわれみをかけない。わたしはあなたを惜しまない。忌み嫌うべきことが、あなたの中にあるうちに、わたしはあなたの行いをあなたの上に返す。そのときあなたがたは、わたしが【主】であることを知る。

7:5 【神】である主はこう言う。わざわいだ。類のないわざわいだ。見よ、それは来る。

7:6 終わりが来る。終わりが来る。あなたのために機が熟した。見よ、それは来る。

7:7 地に住む者よ、あなたの上に終局が来る。その時が来る。その日は近い。山々での歎声の日ではなく、恐慌の日だ。

7:8 今、間もなく、わたしは憤りをあなたに注ぎ、わたしの怒りをあなたに出し尽くす。あなたの生き方のおりにあなたをさばき、あなたのすべての忌み嫌うべきわざに報いる。

7:9 わたしはあわれみをかけない。惜しまない。忌み嫌うべきことが、あなたの中にあるうちに、わたしはあなたの行いのおりに報いる。このとき、あなたがたは知る。わたしがあなたがたを打つ【主】であることを。

7:10 見よ、その日だ。その日が来る。あなた

の終局が来ている。杖がつぼみを出し、横柄さを花咲かせた。

7:11 暴虐が起こって悪の杖となり、彼らもその群衆も、彼らの富もなくなり、彼らのために嘆く者もいなくなる。

7:12 その時が来た。その日がやって来た。買う者も喜ぶな。売る者も嘆くな。燃える怒りがそのすべての群衆に臨むからだ。

7:13 両者が生き延びても、売る者は、売った物を取り戻せないからだ。群衆すべてに関わる幻は取り消すことができず、だれもが自分の不義のうちにいるため、奮い立つて生きることができないからだ。

神さまがどんなにイスラエルに警告を与えても、彼らは悔い改めませんでした。神さまはそのような場合は、さばきを下すしかありません。とは言え、実際にイスラエルを滅ぼすのは近隣の国々です。神さまの守りがなくなってしまったということです。

神さまはご自分の民を特別に守ってくださっていますが、もしも私たちが神さまから離れてしまうなら、その特別がなくなってしまうということです。クリスチャンも不信者と同じく苦難はありますが、主は支え守ってくださいます。しかし、私たちが自ら主から離れるなら、その守りはなくなってしまふのは当然です。

しかし、主はそのような中でも、離れた者を愛し、手を差し伸べ、悟りを与え、ご自身に立ち返るように、招いてくださいます。

主の変わらない愛を悲しませないように、むしろこのような愛の主を喜ばせるようにしていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



27日 日曜

エゼキエル



7:14 ラッパが吹き鳴らされ、すべての準備ができて、戦いに行く者はいない。わたしの燃える怒りが群衆すべてに臨むからだ。

7:15 外には剣、内には疫病と飢饉。野にいる者は剣で死に、町にいる者を飢饉と疫病が滅ぼし尽くす。

7:16 逃れた者たちが逃れて山々の上にも、谷間の鳩のようにみな泣き悲しむ。自分の不義のゆえに。

7:17 どの手も力無く垂れ下がり、どの膝も震える。

7:18 彼らは粗布を身にまとい、戦慄に包まれ、みな恥じて顔を赤くし、彼らの頭からは毛が引き抜かれる。

7:19 彼らの銀は道端に投げ捨てられ、彼らの金は不浄の物ようになる。彼らの銀も金も、【主】の激しい怒りの日に彼らを救い出すことはできない。銀も金も、彼らの欲望を満足させることも、彼らの腹を満たすこともできない。それは彼らを不義に引き込むものであったから。

7:20 彼らはこれを、美しい飾り物として誇り、これで自分たちのために忌み嫌うべきもの、忌まわしいものの像を造った。だから、わたしはそれを不浄の物とする。

7:21 わたしはそれを他人の手に獲物として、地の悪者どもに分捕り物として渡し、それを汚させる。

7:22 わたしは彼らから顔を背け、わたしが秘宝とする所は汚される。無法者がそこに入り込み、そこを侵す。

7:23 鎖を作れ。この国は流血のさばきに満ち、この都は暴虐に満ちているからだ。

7:24 わたしは異邦の民の最も悪い者どもを来させて、彼らの家々を占領させ、有力者たちの高ぶりをくじき、彼らのもろもろの聖所を汚させる。

7:25 恐怖がやって来る。彼らは平安を求めが、それはない。

7:26 災難の上に災難が訪れ、うわさがうわさを生む。彼らは預言者に幻を求めるようになる。祭司から律法が、長老から助言が失われる。

7:27 王は喪に服し、君主は恐怖に包まれ、民衆の手はわななく。わたしが、彼らの行いにしがつて彼らに報い、彼らのやり方にしがつて彼らをさばくとき、彼らは、わたしが【主】であることを知る。』』

イスラエルが主に背いたので、先に来た王国が滅ぼされ、そしてついには南王国も滅ぼされようとしています。この預言からほどなくエルサレムがバビロニアによって攻め落とされることとなります。さばきの預言は現実となるのです。

神様が直接エルサレムを苦しめたわけではありません。バビロニアという大国の野心があり、神様の守りがなくなってしまったのです。神様の守りはただ憐みによるのですが、イスラエルはその憐れみさえも拒否してしまい、他国や偶像に頼ってしまった結果です。

私たちは主に頼りましょう。主の力なくともやっていけそうに思うのは、全くの勘違いです。今平穩だから神様がいなくても良いということは決してありません。平穩なのは神様の憐みによる守りがあるからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

